

健康と病いの語り データベースについて

「障害学生の語り」は「健康と病いの語りデータベース (<https://www.dipex-j.org/>)」というウェブサイトに公開されています。

「健康と病いの語りデータベース」は、乳がん、認知症、クローン病など、さまざまな当事者の方の体験談を集め、それを系統立てて提供するウェブサイトです。

英国オックスフォード大学で開発された DIPEX というデータベースと、そのウェブサイトモデルに、「語り」を提供しています。

DIPEX というデータベースは、オックスフォード大学で開発された方法に従って、一つの病気や健康状態につき、30人から50人のインタビューを収録しています。インタビューとその分析は、専門のトレーニングを受けた調査者によっておこなわれ、インターネットに公開する情報は、当事者や支援者などで構成されるアドバイザリー委員会の助言を受けています。このウェブサイトは、体験者の生の語りに触れることができ、情報の信頼性が確保されていることから、国際的にも高い評価を受けています。

認定 NPO 法人健康と病いの語りディベックス・ジャパンは、ディベックス・インターナショナルという国際組織の一員として、「語りのデータベース」を構築・運営しています。公正かつ適正に情報を提供するため、医薬品・医療機器を製造・販売する企業からの資金提供は受けていません。

「障害学生の語り」データベースの作成は、トヨタ財団の研究助成により行われました。（研究テーマ名「障害学生のエンパワメントを促す当事者の『語りの映像アーカイブ』の構築」研究代表者・瀬戸山陽子）

お問い合わせ

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-5-9 市川ビル 2 階
認定特定非営利活動法人 健康と病いの語りディベックス・ジャパン
URL <https://www.dipex-j.org/>
電子メール question@dipex-j.org
電話：03-6661-6242 ファクス：03-6661-6243

障害学生の体験談を動画や音声でお届けするウェブサイトです

www.dipex-j.org/shougai/

データベース Database of Individual Patient Experiences
ひとり1人 患者 体験



障害学生 の語り



体験したから伝えたいことがある
体験した人にしか語れないことがある

健康と病いの語りデータベース



障害をもちながら大学などの高等教育機関で学ぶ「障害学生」は近年増加しており、支援事例は蓄積されつつあります。しかし、大学の受け入れや配慮には、今も多くの課題があります。「障害学生の語り」データベースは、障害学生の経験を持つ33名の方にインタビューを行い、内容を系統的に整理して、映像や音声、テキストの形で一人一人の体験談を収録したものです。大学生生活を通じて、障害のある学生が何を学び、何を思い、どんな体験をしたかを知ることができます。



「専攻が数学科で、ノートテイクは専門的な知識がある人を探るのが難しかったため、積極的に学科に友達を作ってノートを取ってもらい、そのノートをコピーするのに大学から教員用のコピーカードを貸与してもらった」

30代・数学専攻・肢体不自由



「子どもの頃は自転車に乗れず、それをしんどいと思ったこともあったが、大学進学を機に上京して、電車でどこでも自由に移動できるようになり、学外でのつながりもできた。大学生になった今の自分が一番好きだと思う」

20代・マスコミ専攻・発達障害 (ASD、DCD)



「教員免許を取りたくて特別支援学校での実習には行ったが、それがかなりしんどく、その後教職をあきらめた。教職は目指す人の多くが取れる資格なので、なぜ自分は諦めるのか、だいぶ当時は悩んだ」

30代・心身障害学専攻・内部障害



データベースに収められている語りのトピック

<入学準備>

- ・進路選び・大学選び・入試の準備と実際

<大学での学び>

- ・合理的配慮をめぐる大学との対話・授業と試験
- ・演習や実習・海外留学

<キャンパスライフ>

- ・寮生活や一人暮らし・サークル活動・アルバイト・就職活動

<人間関係>

- ・友人関係・教職員や通訳・ボランティアとの関係
- ・障害を持つ人や患者会とのかわり・親や家族との関係

<大学生生活を振り返って>

- ・大学生活で得たこと・障害学生へのメッセージ・大学や社会への要望

<https://www.dipex-j.org/shougai/> では、映像・音声・テキストを通じて一人一人の体験を知ることができます。ここでは、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害、発達障害、精神障害、重複障害といった障害をもちながら大学生生活を送った人の体験を知ることができます。障害をもちながら現在大学で学んでいる人、これから学びたいと思う人、また共に過ごす学生や支援者の方々にも活用していただきたいウェブサイトです。

